

【平成30年度実技入試問題】

台の上に置かれているものを鉛筆でデッサンしなさい。

※ 台の上に見える陰影も描いてください。

画用紙F 8号サイズ (時間90分)

<注意点>

- ・画用紙の使用はタテ・ヨコ自由。イーゼルの高さや位置は少し変えてもよい。
- ・ほぼ実物大に描き、モチーフの中にある陰や台に映った影も入れる。
- ・使用する鉛筆の種類や本数に制限はない。

<解説>

- ・試験は中央に置いた低めの台にモチーフを置き、その周りに6、7人の受験生がイーゼルを使って描く例年通りの形式である。どこに座っても有利不利がないように座席には配慮した。
- ・出題したモチーフは、基本的な形態であること、普段よく目にするものを軸に選定した。今年度は、基本形が円柱であるアルミ製の缶と、直方体である白色の箱、帯状の黒色の紙の組み合わせである。箱の上に帯状の紙を十字に配置し、その上に缶を乗せた。見下ろす角度によって箱や缶の両底辺の形が変化することを理解できれば、正確な形をとることができるであろう。同一平面上に配置されているという認識を持って陰影をつけることも必要である。アルミ製の缶に写り込む黒色の紙や缶の持ち手など、細部まで粘り強く描き込む受験生が多かった。モチーフの位置関係を理解し、手前のものと奥のものとの距離感の違いをとらえた描き込みがなされていると望ましい。

<採点の基準>

- ・モチーフをよく観察し、理解できているか。
- ・立体感や空間の表現ができているか。
- ・最後まできちんと描こうと努力しているか。

デッサンの練習をしたら、学校の美術科の先生などに講評していただくとよい。

